

マネジメントコース研修生のつぶやき

編集者注：このコンテンツは、マネジメントコース（※）の研修生が持ち回りで担当し、それぞれの所感等を述べたものです。

※ 地方自治体職員が、自治大学校の実務や、研修（第1部課程等）の履修によって、実践的に高度の政策形成能力及び行政管理能力の向上を図るもの。

マネジメントコース研修生として自治大学校へ出向してから、早くも半年がたとうとしています。今年の1月末に派遣元の人事担当から出向の打診があり、その場では迷うことなく即答したものの、研修計画をみると「高度な研修」「管理職としてのマネジメント能力の養成」など錚々たる文言が並んでおり、私に務まるのだろうか・・・と出向の時期が近づくにつれて不安になったことを覚えてしています。

マネジメントコース研修生は1年間の出向となるため、その中で研修の運営側と受講側、どちらも経験することになります。私は令和7年度の上半期に教務部職員として研修を運営し、下半期に第1部課程の研修を受講するというスケジュールのため、ここまでの半年間は、主に第2部課程の研修運営に携わってきました。教務部では、研修生への連絡・講師とのやりとり・研修オリエンテーション・時間割の作成など、研修に関するさまざまな業務を行っています。研修の全体像が見えない中での運営は不安だらけでしたが、周りの職員のみなさんに助けていただき、研修生にも円滑な運営にご協力いただき、なんとか乗り越えることができました。派遣元自治体に入庁してから、ずっと市民対応がメインの窓口職場で働いてきたため、今までとまったく異なるフィールドで仕事をできたことも、自身のキャリアにおいてとても貴重な経験となりました。

私の派遣元は自治大学校のある立川市なのですが、研修生から「住みやすい」「人口は自分の自治体と変わらないのに、駅前にあんなに人が集まっています」「賑わいと自然が併存している」「おいしい飲食店がたくさんある」など、立川に対してポジティブな意見をたくさんいただき、あらためて立川の魅力に気付くことができました。また、生まれてから今まで多摩地区（東京都の西側、23区外）に住み続けてきた私にとって、全国各地からくる研修生と出会い、地元の話の聞けることも楽しみの1つです。

毎年7月に行われる国営昭和記念公園の花火大会を、自治大学校の敷地内から絶好のロケーションで見られることも、アピールポイントの1つです。私自身、昭和記念公園の花火大会には何度か足を運んだことがあるのですが、今まで見た中で間違いなくベストロケーションでした。

最後になりますが、この場をお借りして講師の先生、研修生、自治大学校職員、マネジメントコース生、派遣元自治体のみなさまに心より感謝申し上げます。拙い文章でしたが、最後までお読みいただきありがとうございました。



* 国営昭和記念公園の花火大会 *